


自治労 剣淵町職労青年部  たんこぶ	教宣紙：第11号 担当：すぎさわ 発行日：10月21日(水)
---	--------------------------------------

もう秋も終わって雪が降り、雪が積もったら1年も終わると早々と時間は過ぎていきますね。やり残していることがある人は、**急ぎましょう！！**

さて、今回の教宣紙は**道本青年部定期大会と4・6月実施した賃金アンケートの集計結果**についてです。

特に若い人はこれを読んで、**道本って？定期大会って？**を解消していただきたいので、**しっかりと読む**こと。(大したことは書いてないですが・・・)

9/12(土)～9/13(日)

**自治労道本青年部
定期大会**



9月12日～9月13日の2日間、札幌市自治労会館5階大ホールにて**第30回自治労道本青年部定期大会**が行われ、剣淵から2名参加してきました。

まず、組合活動の総まとめとして行われるのがこの「**定期大会**」というものですが、**定期大会**とは主に「**他単組の活動報告や成果・課題、新旧役員交代、各地本の発言**」などとなります。

「**地本と道本**」の違いは、**北海道全体の規模が「道本（北海道本部の略）」、上川などの地方規模が「地本（地方本部の略）」**です。念のため・・・

さらに言うと、知っている人ぞ知ることですが、青年部活動には、**三大機関会議**というものが存在し、**道本青年部定期大会**はそのうちのひとつとなる重要な

会議となります。(残り2つは下を見てね♪)

参加者2名から感想を貰っているので、しっかりと読み、みんなで勉強しながら共有しましょう。

発言で、夏期交に初めて参加した仲間がいきなり教宣を発行したり、集会に仲間を連れて行ったりと周りを引っ張っていく立場に変化したという話が印象に残りました。実際に集会に参加することにより得るものは大きく、きっかけはささいなことでも後の積極的な単組内の活動に繋がっていくのだと実感させられました。また、開催地を経験したことにより、対立していた仲間が協力関係へと変化したという話も興味深いものでした。2、3年後地本や単組でどのような活動をしているのか、またこの場で発言してほしいと思いました。今回の発言は組合活動自体よりも、そのためによりよい組合活動をつくらうとしている話が多かったように感じます。深い信頼関係を築けることが青年部の醍醐味と言っていた単組がいくつかあり、そのとおりだと強く感じた定期大会でした。
(松本 麻由)

全道の青年部の状況聞き、大変勉強になりました。昼食会やティーパーティ、ミーティングを行い、青年部員の交流を図っている。江別市は青年部の1/3が保育士で、10分しか休憩がない・パソコンの台数が少ない・消耗品を自費で購入など保育所の厳しい実情がある。名寄市は青年部の半分は病院関係で、病院の厳しい実情があることから病院学習会(分散会)を行い、じっくりと交渉を進めていく予定。他に、全道夏期交のことなどが多く話されていました。道本青年部副部長に名寄市の高橋青年部長が着任するということもあり、上川地方の一員として剣淵町も意識してさらに行動していかなければならないと感じました。
(遠藤 ひとみ)

～三大機関会議～

1. **道本青年部春闘討論集会**
2. **道本青年部長会議**
3. **道本青年部定期大会**

4月・6月賃金アンケート集計結果！！

教宣紙では、2月実施分までしか公表しておりませんでした。4月分と6月分の賃金アンケートの集計結果を発表！！
今回はどういった傾向があったのか？どうすれば改善できそうか？など、ただやって集計して終わり！！にはしたくありませんので、先の活動に繋がるように考えながら読みましょう。

また、この賃金アンケートにもちゃんと意味があります。当局と交渉する上で賃金要求額の根拠になるなど、重要な資料になります。

確定期闘争などの要求に繋がるように、しっかりと共有（結果だけではなく、意味なども考えながら）しましょう。

（結果については、学習班でまとめてもらったものです。）

4月賃金アンケート

2月と比較して、それぞれの数字をみてみた。時間外手当は1万円増えている。時間にするると一人平均月20時間くらいの超過勤務をしていることになる。4月は異動した青年部員が多かった影響か。また、車代に1万4千円増えている。税金・保険の支払いがあったのではないか。娯楽費も1万円増加。GWの外出ではないか。貯金は1万円下がっている。先の支出により、貯金が減ったと思われる。支出-収入は、6千円増。妥当な数字と思われる。組合や納得のいかない支出はない。貯金希望額から実際の貯金額を引くと、1万2千円足りていない。基本給が足りていないと思われる数字。全体的に、わかりやすい結果が出たのではないか。

6月賃金アンケート

ボーナス支給月ということで、支出が増えているのはボーナス払いの支出があったのではないかと予想される。保険代や衣服等が増えている。カード払いの人もいるかもしれない。保険の1年分一括払いとも考えられる。特に貯金が増えているので、希望額通り貯金できた人の割合も多かった。ただし、これはボーナス支給月だけをみた収支なので、前後の月にはまた変わってくる。つまり、年間集計をみてみないと実際の不足額は見えてこないと思われる。また、超過勤務は4月が異動後で増えたのは当然だが、この時期でもまだ時間外手当が増えていた。夏場のイベント関係の業務がある課は忙しかったのでは？という見解になった。